

未来に向けた学校施設づくり

ー学校施設全体に子供や教職員の多様な活動の場を
どう構築するかー

2025年

1月29日(水)

13:30~17:30

会場：文部科学省3階講堂

参加費無料/日英韓同時通訳/対面開催（定員300名）・同時オンライン配信



ハーコート・テラス小学校（アイルランド・ダブリン）



新県小学校（韓国・ソウル）



カンダラ小学校（ニュージーランド・ウェリントン）



新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、改めて学校が、学びの場であるとともに、子供たちにとって、安全・安心な居場所を提供する福祉的機能や、社会性・人間性を育む社会的機能も有する場であることが再認識された。新型コロナウイルス感染症の対応を超えて、諸外国では学校施設という子供たちが集い、学ぶ場である実空間の価値がどう捉え直されたのか、学校施設を取り巻く諸外国の最新の動向も踏まえ、新しい時代の学びを支える学校施設づくりについて、子供たちの学習空間と教職員スペースの両面から考える。

星の杜小学校（日本・富山県魚津市）



トニー・シェパード
建築家



ステファン・マッシュ
アイルランド教育省
予算・プログラム管理支援ユニット
テクニカルマネージャー



マーク・ケリー
アイルランド教育省
テクニカルマネージャー



イ・サンミン
韓国教育開発院
教育施設・環境研究センター長



レネル・グロナート
ニュージーランド教育省
学校設計ディレクター



アニー・エタ・バシ・
アックリー
ニュージーランド教育省
研究・建物性能主任アドバイザー



ローレン・スミス
ニュージーランド教育省
戦略的資産管理担当マネージャー



長澤 悟
東洋大学 名誉教授
教育環境研究所 所長
国立教育政策研究所 客員研究員

お申込み方法

WEBの申込みフォームからお申し込みください。※定員数になり次第、締切りになります。

申込受付：令和6年12月10日(火)～令和7年1月26日(日)

▷ 特設サイト <https://www.nier.go.jp/shisetsu/event/2024/>

▷ お問い合わせ shisetsu@nier.go.jp



<共催>



東京科学大学 教育施設環境創造センター

<後援>



未来に向けた学校施設づくり

2025年1月29日 水

ー学校施設全体に子供や教職員の多様な活動の場をどう構築するかー

13:30~17:30

文部科学省 3階講堂

プログラム

日英韓同時通訳

13:30~13:35 ◆開会挨拶

池田 貴城 国立教育政策研究所長

13:35~13:40 ◆来賓挨拶

小原ベルファリゆり 経済協力開発機構（OECD）事務局 教育・スキル局
就学前・学校教育課長

13:40~13:50 ◆趣旨説明

深堀 直人 国立教育政策研究所 文教施設研究センター長

【第一部】基調講演

「アイルランドの学校施設部門と共創環境」

ステファン・マシューズ

アイルランド教育省 予算・プログラム管理支援ユニット テクニカルマネージャー

◆講演 1

マーク・ケリー

同 テクニカルマネージャー

13:50~14:15

アイルランド

「ハーコート・テラス・スクール（ダブリン）

革新的な学習環境を備えた新しい都市型小学校

ー設計コンペのコンセプトから完成した学校の利用までー」

トニー・シェパード 建築家

◆講演 2

14:15~14:40

韓国

「未来の教育のための学校空間の再構築事例

（学校空間の革新と学校の複合化を中心に）」

이상민（イ・サンミン） 韓国教育開発院 教育施設・環境研究センター長

◆講演 3

14:40~15:05

ニュージーランド

「ニュージーランドにおける安全・快適でコストエフェクティブな 学習空間に向けた取組」

レネル・グロナート

ニュージーランド教育省 学校設計ディレクター

アニービエタバシ・アックリー

同 研究・建物性能主任アドバイザー

ローレン・スミス

同 戦略的資産管理担当マネージャー

◆講演 4

15:05~15:30

日本

「ウェルビーイングの観点から学校施設を見つめ直す ー新しい学びを生み出す空間、支える場ー」

長澤 悟

東洋大学 名誉教授 / 教育環境研究所 所長 / 国立教育政策研究所 客員研究員

休憩

【第二部】パネルディスカッション

「各国における学習空間や教職員スペースのあり方」

16:00~17:20

◆パネルディスカッ
ション

パネリスト : 上記各講演者

モデレーター : 深堀 直人 文教施設研究センター長

（会場の参加者も交えた質疑応答も行います）

17:20~17:30 ◆閉会挨拶

高田 潤一 国立大学法人東京科学大学 執行役副学長（国際担当）